



広報

しらべ

6月1日

昭和54年(1979) No.594

編集

越谷市役所企画部広報課

越谷とわたし

27 ◇◇

緑の草木、田園、朝夕の空氣良
く、夜は静寂そのもの……いい所だな
といつやうた一年前。入院中の夫を
東京に残し、息子と一緒に新しく建つ
たばかりのアパートに引っ越してしま
した。初めてのときは、二、三年もした
く一軒の家を持ちついでいるのを思
うと、いつものおかしくない独り苦笑
していました。
しかし、いつもの
建物が築成すれば、またまたおも住
きだとほんとうにそれなりの意識
を持つようになりました。
それが、これがです。
越谷での一年は、アッという間に
過ぎてしまった。しかし、いつもど
う戦時下で育った生花をやり直したのを
最近は年ごとに境
境が良くなり、近
くの道路はすっか
り整備されまし
た。

いつか引っ越しときがくる

南越谷一の六の一 杉村京子(62歳)

週一度グループが顔を会わせ、本当に楽しく続けています。そんなこんなで、いつか引っ越しときがくるはず。
でも、いつか引っ越しときがくるはずです。今年で三歳になった息子は、東京の生命保険会社に勤めていましたが、いずれ転勤になつて遠くへ行かなければならぬかも知れないと、ことと、それで、まだ独身なので、早く結婚してもらおねだり思つてもらひます。ですが、そのときは、住みなれた土地を離れるひととなるのです。

これは生徒さんへの贈り物です
手書き袋を編む杉村さん



早苗とり

.....苗間に初夏のひかり

機械植えが普及し、ハウスで苗を栽培するようになったせいか、このごろ苗代や紺がすりの早乙女の姿はほとんど見られなくなつた。それでもまだ水田の多い越谷では、田んぼに水が引かれると、そちこちで代かきや田植えの光景がみられる。

五月晴のある日、市内大道の耕地で、むかしながらの苗取りを見かけた。短冊形に生えそろった早苗を手で抜きとり、手ごろの束にして結わえつける。こうしておいて三、四本ずつの株にもぎつては田植えするわけだ。

さあ、あしたは田植えだ。初夏のひざしの中で、浅緑の苗がキラキラと光って見えた。

市の人口



(昭和54年5月1日現在)

総人口	21万4002人	前月比	1025人増
男	10万7921人		573人増
女	10万6081人		452人増
世帯数	6万1604世帯	433世帯増	

